

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2007-17922(P2007-17922A)

【公開日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2005-227210(P2005-227210)

【国際特許分類】

G 09 G 1/00 (2006.01)

【F I】

G 09 G 1/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月9日(2008.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【図1】図1が3つの次元のオブジェクトジェネレーターの概念の例の図を示します。

【図2】図2が3つの次元のオブジェクトジェネレーターの概念の例の図を示します。

【図3】図3が例の方法に、マルチブル次元のオブジェクトのレイヤ/マトリクス/テンソルを発達させる方法を示します。

【図4】図4が3つの次元のイメージ/オブジェクトインプットそして/あるいはアウトプットに例の接続を示します。

【図5】図5-1がミクロレンズで3つの次元のディスプレイとして使用されることができるマトリックスライトユニットの例の図を示します。多数のユニットが実際的な3つの次元のイメージ/音を作るために一列に並べられるかもしれません。

【図6】図6が(3D)ライト/音ユニットのサイドビューの例の図を示します。場所と波の方向が割り当てられるかもしれません

【図7】図7が(3D)ライト/音ユニットの一番上のビューの例の図を示します。場所と波の方向が割り当てられるかもしれません

【図8】吉野一虎による、無限方程式の写真図。

【図9】吉野一虎による、ディメンション・多次元合成構造体の製造方法の一例。

【図10】吉野一虎と、吉野レベッカハルによる、ダイヤモンド文明の開花、ダイヤモンドの合成の手段/システムの写真図。ディメンション・多次元合成構造体の製造方法の一例。レーザー/パルス・レーザー/ビーム/マイクロウェーブ/電子線を用いて、マテリアル/カーボン/カーボン・パウダーを溶かして/融解して、クリスタル/ダイヤモンド/DLC/水晶/ガラス/結晶を、製作/製造する。この際、例えば、パルス・レーザーは、フォーカシング/フォーカスしても、テレセントリック、パラレルであっても良い。薄膜のダイヤモンド・コーティング/3D・ダイヤモンド・ストラクチャーとしても良い。X-Y-Zステージによる、制御によって、3Dプリントによって、3Dストラクチャーを作っても良い。カラーをつけても良い。パルス・レーザーを、フォーカスして、クリスタル/ダイヤモンドの中に、3Dアート/3Dストラクチャーを作るのでも良い。

【手続補正2】

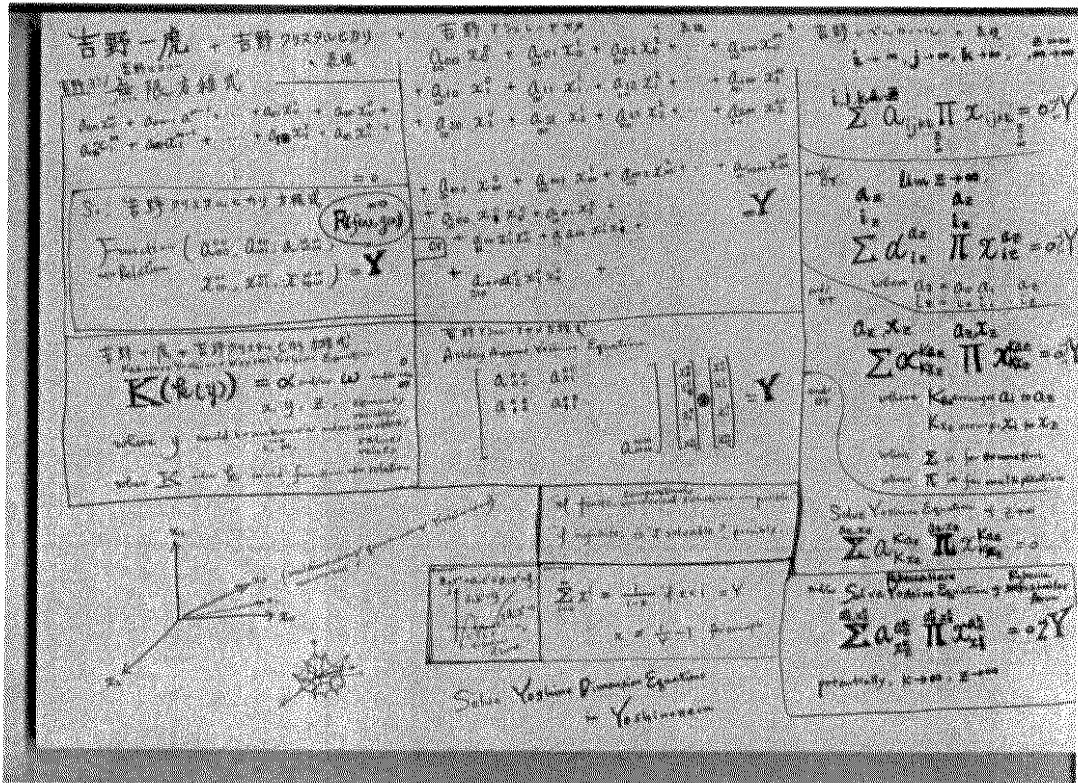
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図8

【補正方法】追加

【補正の内容】

【 図 8 】



【手続補正3】

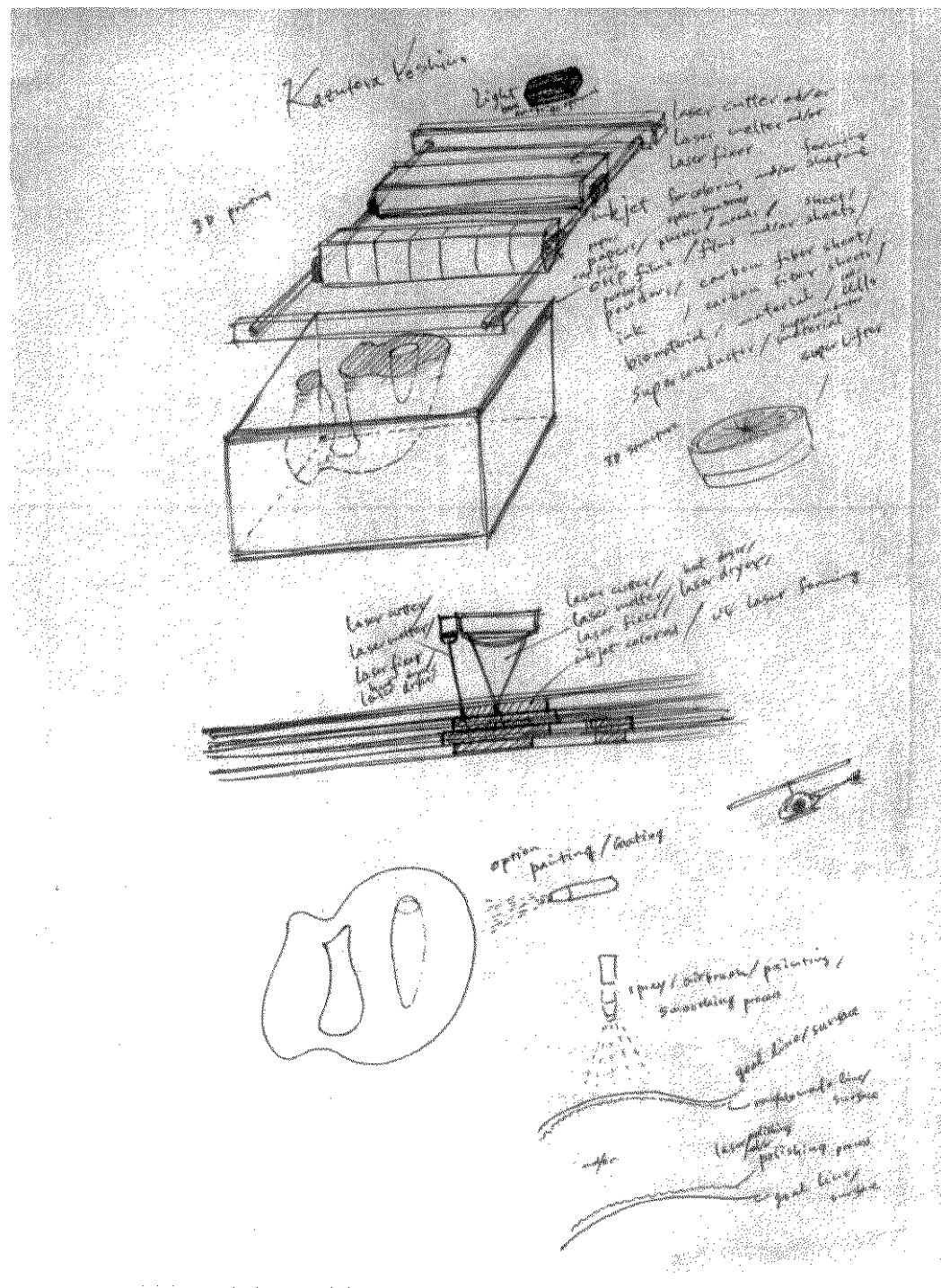
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図9】



【手続補正4】

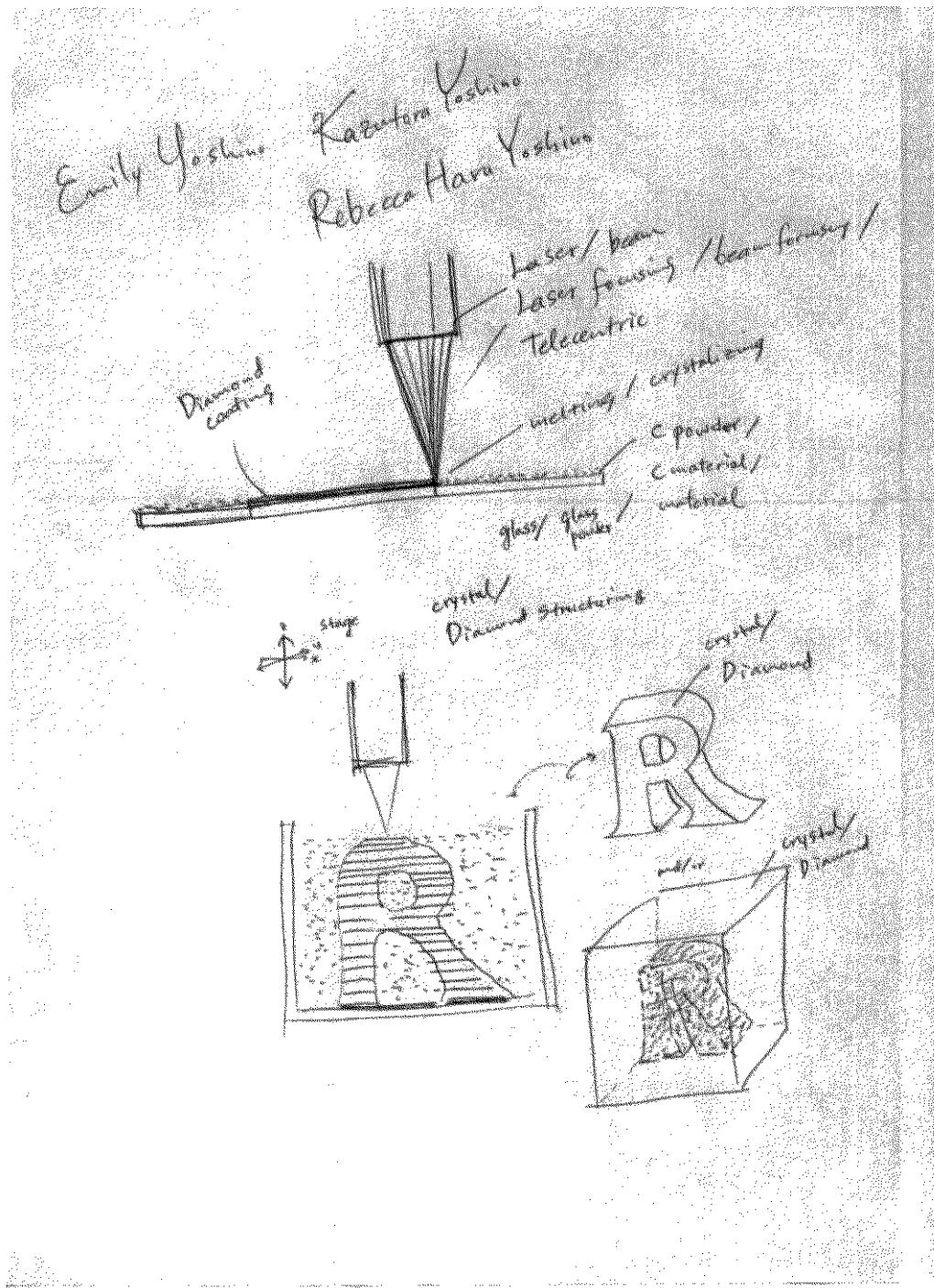
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図10

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図 10】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特願 166099、特願 2005-198047 の特許に、反さないように、明細書、要約、請求項、図面によって、示唆されるものを特徴とする、システム。

【請求項 2】

請求項 1について、レーザーを用いて、ダイヤモンドを用いた造形物を作ることを特徴と

する、システム。